

【Espress 製品】日本語化手順書

Ver 1.0

2011年12月21日

株式会社クライム

目 次

1. はじめに.....	2
1.1. 本ドキュメントについて.....	2
1.1.1. 範囲	2
1.1.2. 対象バージョン	2
1.2. 更新履歴.....	2
2. 日本語化適用手順.....	3
2.1. 日本語化マッピングファイルのダウンロード.....	3
2.2. EspressChart 日本語化手順.....	3
2.3. EspressReport 日本語化手順	4
2.4. EspressDashboard 日本語化手順.....	5
2.5. EspressReport ES 日本語化手順.....	6
3. 日本語化マッピングファイルの修正	8
3.1. 日本語化マッピングファイルの修正手順.....	8

1. はじめに

1.1. 本ドキュメントについて

1.1.1. 範囲

本ドキュメントは、Espress 製品 (EspressChart・EspressReport・EspressDashboard・EspressReport ES) のツールを日本語化する手順について記載しております。

1.1.2. 対象バージョン

本ドキュメントは、Espress 製品の下記バージョンを対象としております。

- 【EspressChart】 6.3
- 【EspressReport】 6.3
- 【EspressDashboard】 6.3
- 【EspressReport ES】 6.3

1.2. 更新履歴

版	修正日	修正者	内容
1.0	2011/12/26(月)	S.F	初版

2. 日本語化適用手順

Espress 製品では、日本語化マッピングファイルを読み込ませることで、製品ツールを既存の英語から日本語に変更したものを使用できます。

2.1. 日本語化マッピングファイルのダウンロード

以下のサイトからダウンロード可能です。技術資料 Espress シリーズ日本語化の「日本語化ファイル.zip」です。

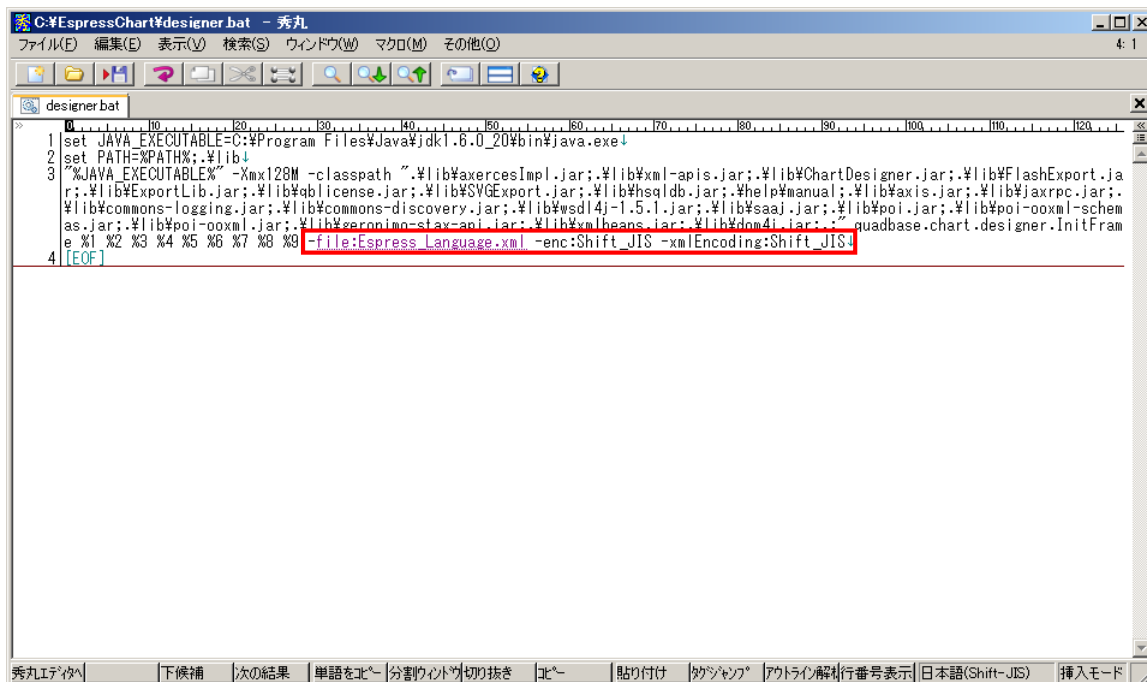
<http://www.climb.co.jp/soft/documentation/>

ダウンロード後は展開し、Espress_Language.xml を製品インストールディレクトリに格納してください。

2.2. EspressChart 日本語化手順

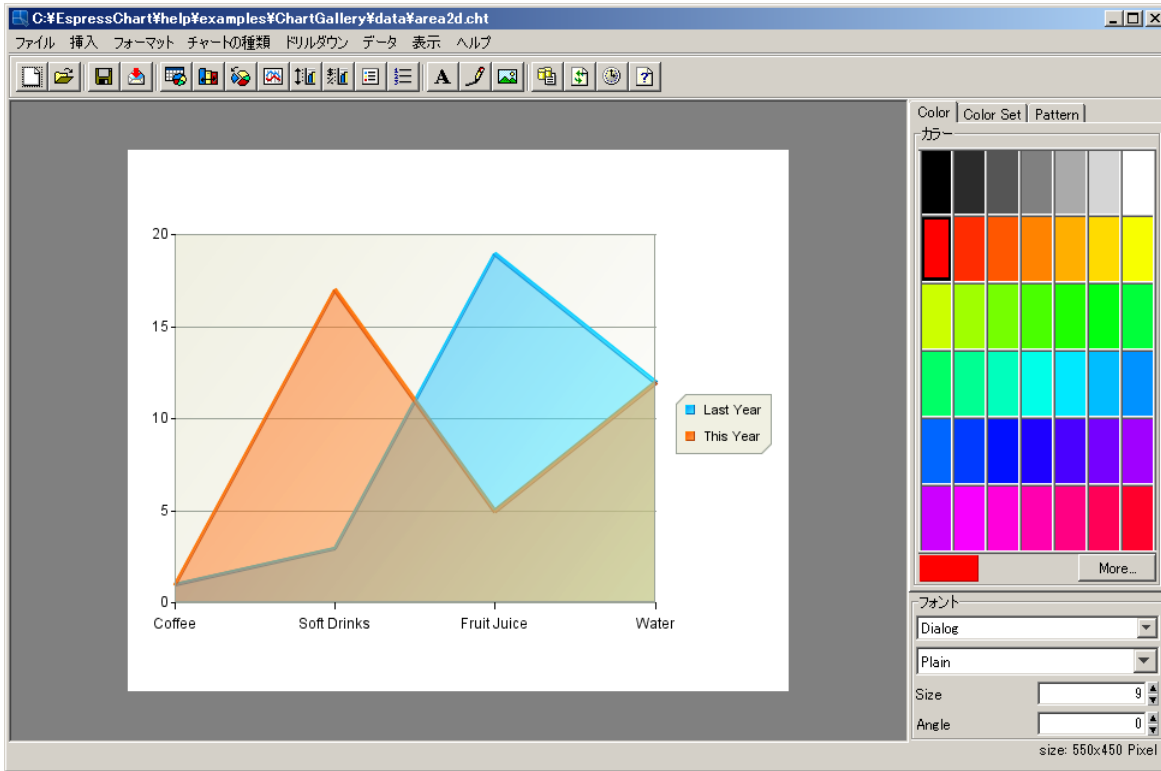
1. Windows 環境の場合は EspressChart インストールディレクトリ内の「designer.bat」を開きます。Linux 環境の場合は EspressChart インストールディレクトリ内の「designer.sh」を開きます。

2. designer.bat(designer.sh)の最後に以下を記述します。文字コードは必要に応じて変更してください。
-file:Espress_Language.xml -enc:Shift_JIS -xmlEncoding:Shift_JIS



```
C:\EspressChart\designer.bat - 秀丸
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ウィンドウ(W) マクロ(M) その他(O) 4:1
designer.bat
1 | set JAVA_EXECUTABLE=C:\Program Files\Java\jdk1.6.0_20\bin\java.exe
2 | set PATH=%PATH%;%lib%
3 | %JAVA_EXECUTABLE% -Xmx128M -classpath ".\lib\axercesImpl.jar;.lib\xml-apis.jar;.lib\ChartDesigner.jar;.lib\FlashExport.jar;.lib\ExportLib.jar;.lib\oblicense.jar;.lib\SVGExport.jar;.lib\hsqldb.jar;.help\manual;.lib\axis.jar;.lib\jaxrpc.jar;.lib\commons-logging.jar;.lib\commons-discovery.jar;.lib\wsdl4j-1.5.1.jar;.lib\saaj.jar;.lib\poi.jar;.lib\poi-ooxml-schemas.jar;.lib\poi-ooxml.jar;.lib\geronimo-stax-api.jar;.lib\xmlbeans.jar;.lib\dom4j.jar;.quadbases.chart.designer.InitFrame %1 %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 %9 -file:Espress_Language.xml -enc:Shift_JIS -xmlEncoding:Shift_JIS
4 | [EOF]
```

3. チャートデザイナーを起動し、日本語化されていることを確認します。



2.3. EspressoReport 日本語化手順

1. Windows 環境の場合は EspressoReport インストールディレクトリ内の「reportdesigner.bat」を開きます。Linux 環境の場合は EspressoReport インストールディレクトリ内の「reportdesigner.sh」を開きます。

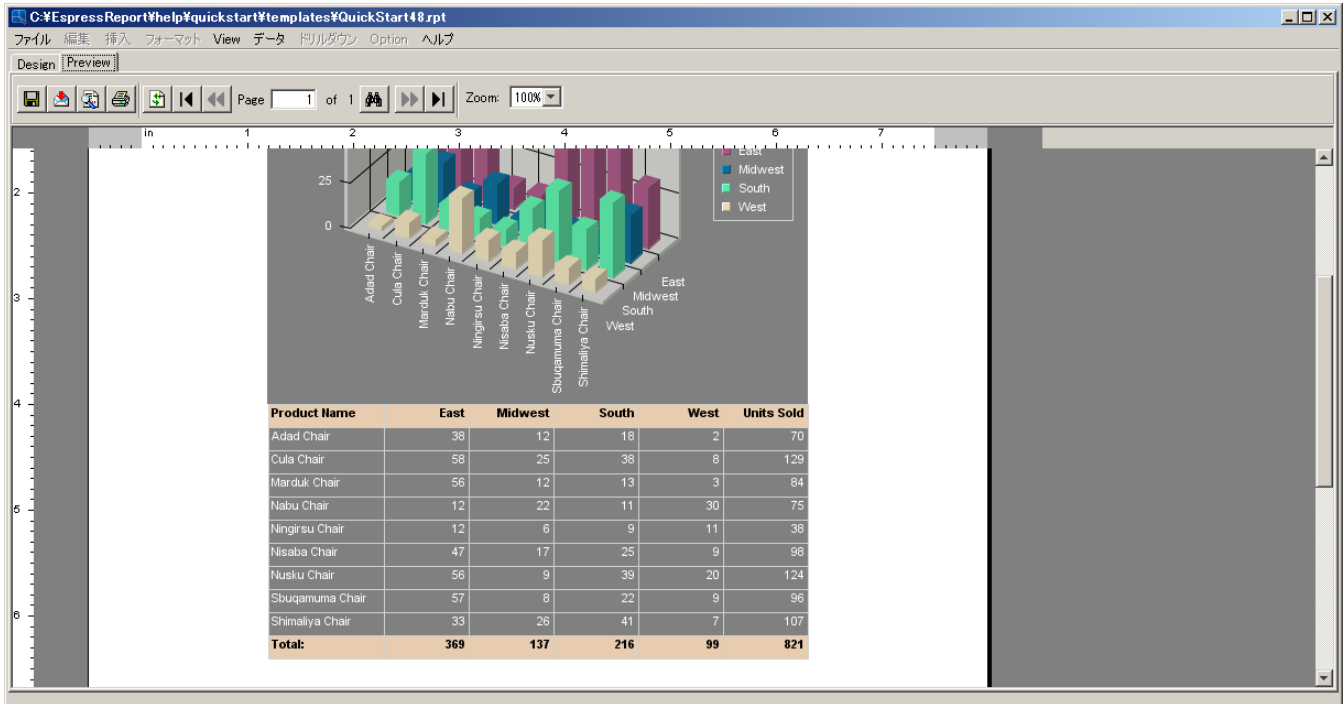
2. reportdesigner.bat(reportdesigner.sh)の最後に以下を記述します。文字コードは必要に応じて変更してください。

-file:Espress_Language.xml -enc:Shift_JIS -xmlEncoding:Shift_JIS

```

1 set JAVA_EXECUTABLE=C:\Program Files\Java\jdk1.6.0_20\bin\java.exe
2 set PATH=%PATH%;%lib%
3 "%JAVA_EXECUTABLE%" -xmx128M -classpath ".;%lib%barbecue-1.5.jar;%lib%manual;%lib%ReportDesigner.jar;%lib%qlicense.jar;%lib%SVGExport.jar;%lib%FlashExport.jar;%lib%axercesImpl.jar;%lib$xml-apis.jar;%lib%poi.jar;%lib%ExportLib.jar;%lib%hsqldb.jar;%lib%axis.jar;%lib%jaxrpc.jar;%lib%commons-logging.jar;%lib%commons-discovery.jar;%lib%wsdl4j-1.5.1.jar;%lib%saaj.jar;%lib%poi-ooxml-schemas.jar;%lib%poi-ooxml.jar;%lib%geronimo-stax-api.jar;%lib%xmlbeans.jar;%lib%dom4j.jar;." quadbase-reportdesigner.designer.ReportClient -templatesDirectory:Templates %1 %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 %9
4 -file:Espress_Language.xml -enc:Shift_JIS -xmlEncoding:Shift_JIS
  
```

3. レポートデザイナーを起動し、日本語化されていることを確認します。



2.4. EspressDashboard 日本語化手順

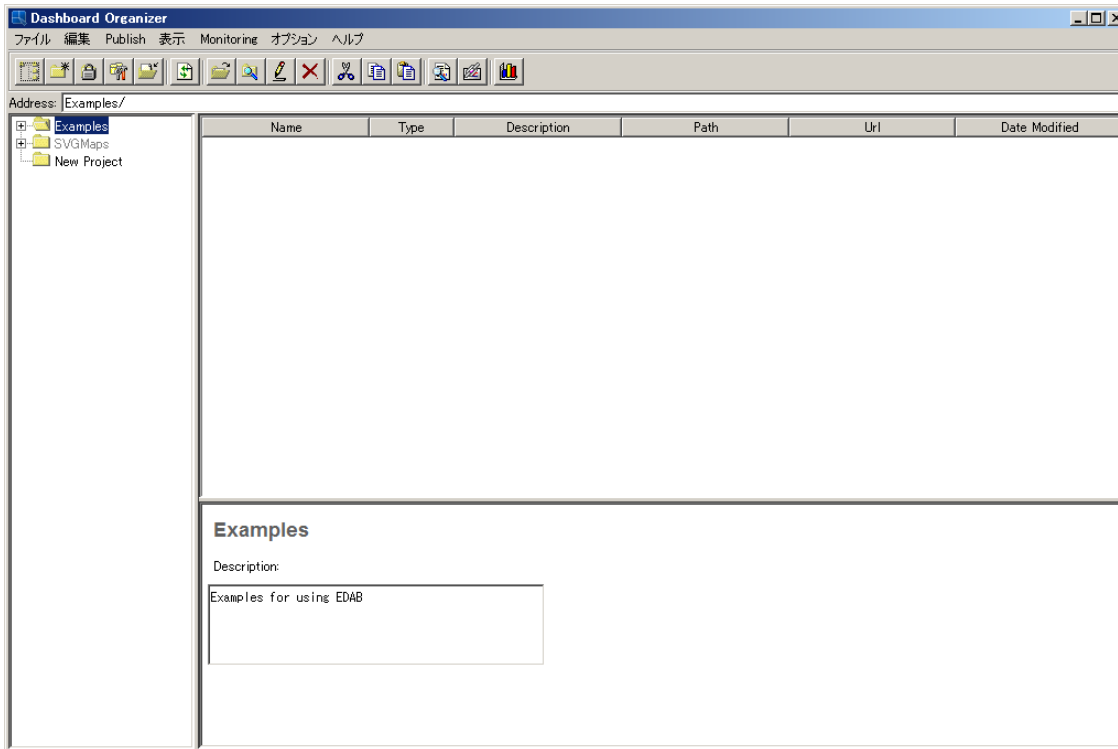
1. EspressDashboard インストールディレクトリ内の「Organizer.jsp」を開きます。
2. Organizer.jsp の 76 行目付近に以下を記述します。文字コードは必要に応じて変更してください。
file: "Espress_Language.xml",
enc: "Shift_JIS",
xmlEncoding: "Shift_JIS",

```

50 - </td>↓
51 - </tr>↓
52 - </tr>↓
53 - <td><script type="text/javascript">↓
54 -   if (deployJava.versionCheck('1.5+') == false) {↓
55 -     if(confirm("You need the latest Sun Java(TM) Runtime Environment 1.5 or later. Would you like to update now?"))
56 -     {
57 -       deployJava.returnPage = location.href;↓
58 -       deployJava.installLatestJRE();↓
59 -     }
60 -   } else {↓
61 -     var attributes = {code:'quadbase.reportorganizer.manager.OrganizerClient', ↓
62 -     archive: './lib/axercesImpl.jar,./lib/EDABOrganizer.jar,./lib/xml-apis.jar,./lib/json.jar,./lib/poi.jar',↓
63 -     width:'100%', height:'170'};↓
64 -     var parameters = {↓
65 -     progressBar:true,↓
66 -     boxmessage:"loading Organizer...",↓
67 -     boxbgcolor:"white",↓
68 -     java_arguments:"-mx128m",↓
69 -     usr: "<%= eresOrganizer.getEncodedUsr() %>",↓
70 -     pwd: "<%= eresOrganizer.getEncodedPwd() %>",↓
71 -     comm_protocol:'servlet',↓
72 -     comm_url: "<%= eresOrganizer.getServerURL() %>",↓
73 -     servlet_context: "<%= eresOrganizer.getServletContext() %>",↓
74 -     default_date_format: "<%= eresOrganizer.getDefaultDateFormat() %>",↓
75 -     default_timestamp_format: "<%= eresOrganizer.getDefaultTimestampFormat() %>",↓
76 -     file: "Espress_Language.xml",↓
77 -     enc: "Shift_JIS",↓
78 -     xmlEncoding: "Shift_JIS",↓
79 -     default_time_format: "<%= eresOrganizer.getDefaultTimeFormat() %>"

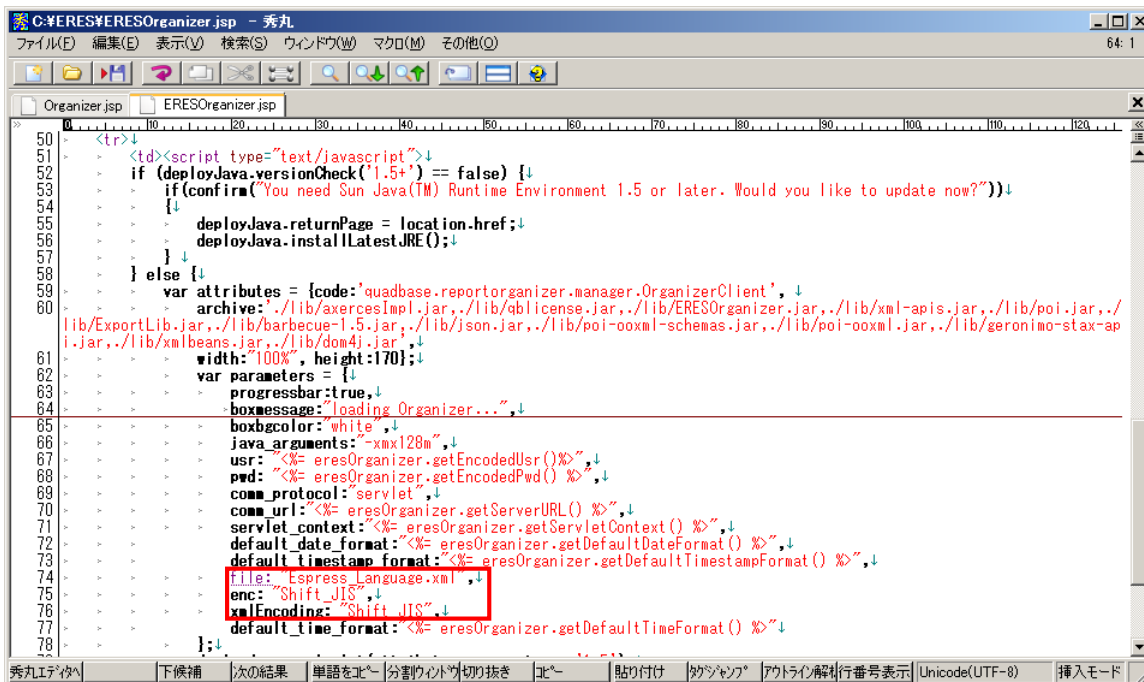
```

3. オーガナイザを起動し、日本語化されていることを確認します。

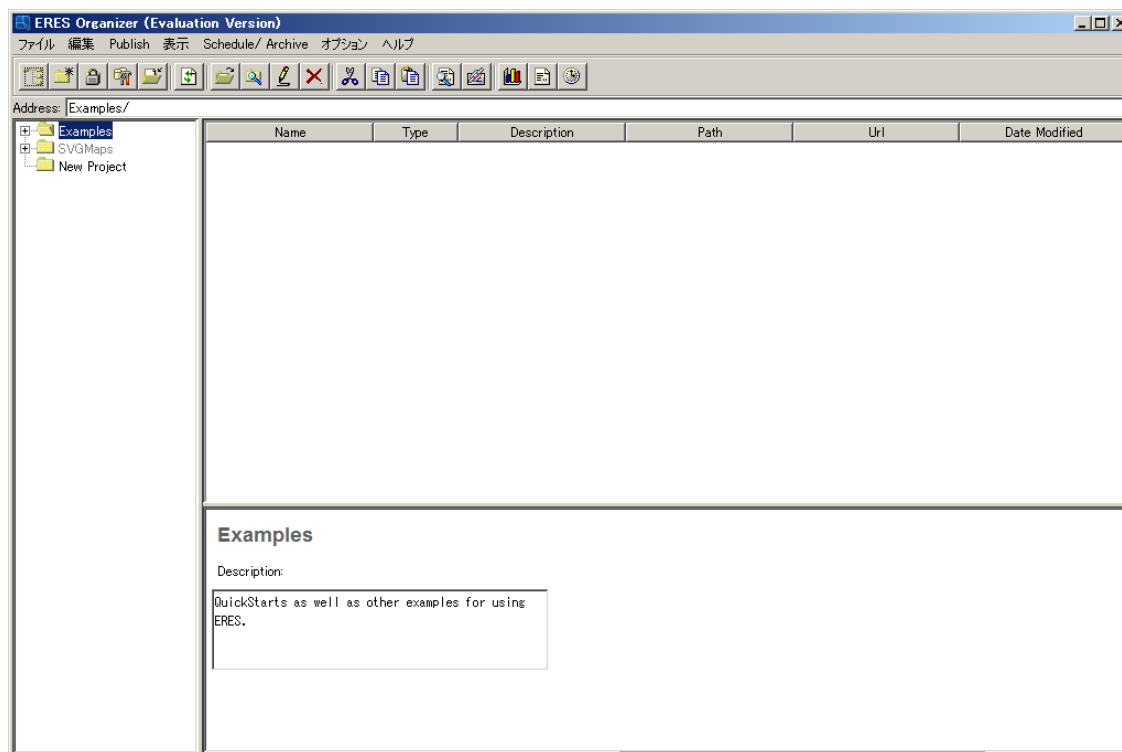


2.5. EspressoReport ES 日本語化手順

1. EspressoReport ES インストールディレクトリ内の「ERESOrganizer.jsp」を開きます。
2. ERESOrganizer.jsp の 76 行目付近に以下を記述します。文字コードは必要に応じて変更してください。
 file: "Espress_Language.xml",
 enc: "Shift_JIS",
 xmlEncoding: "Shift_JIS",



3. オーガナイザを起動し、日本語化されていることを確認します。



3. 日本語化マッピングファイルの修正

ダウンロードした日本語化マッピングファイルの内容を直接修正することが可能です。修正の際は、直接マッピングファイルである XML ファイルをテキストエディタ等で修正することも、専用ツールを使用して修正することも可能です。ここでは専用ツールを使用した方法を Windows 版を例に記載しております。

3.1. 日本語化マッピングファイルの修正手順

1. Windows Power Shell やコマンドプロンプトを起動します。

2. 製品インストールディレクトリに移動します。

例：cd C:\¥EspressChart

3. 以下のコマンドを入力して実行します。文字コードは必要に応じて変更してください。

【EspressChart の場合】

```
java -classpath ".\lib\EsspressAPI.jar,;" quadbase.internationalization.TranslateWizard -file:Espress_Language.xml -enc:Shift_JIS
```

【EspressReport の場合】

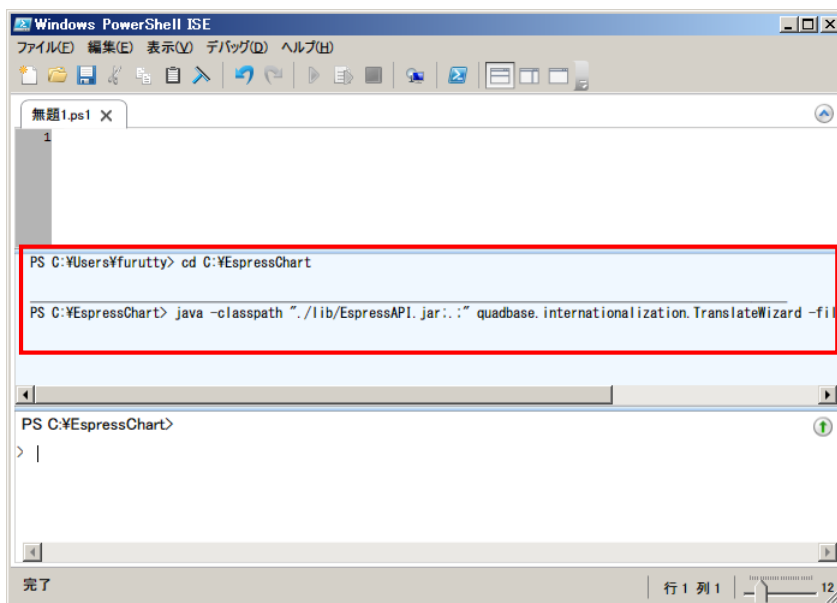
```
java -classpath ".\lib\ReportAPIWithChart.jar,;" quadbase.internationalization.TranslateWizard -file:Espress_Language.xml -enc:Shift_JIS
```

【EspressDashboard の場合】

```
java -classpath ".\lib\EDABOrganizer.jar,;" quadbase.internationalization.TranslateWizard -file:Espress_Language.xml -enc:Shift_JIS
```

【EspressReport ES の場合】

```
java -classpath ".\lib\ERESOrganizer.jar,;" quadbase.internationalization.TranslateWizard -file:Espress_Language.xml -enc:Shift_JIS
```



4. 専用ツールが起動します。修正後は一番下の「Save」ボタンを押下して保存します。

